

はじめに

小山市立中央図書館は、「豊かな人と地域を創る図書館」をキャッチフレーズに掲げ、国立国会図書館をはじめ栃木県立図書館や他の公共図書館との連携を図るとともに、市内にある小山分館・間々田分館・桑分館・公民館図書室・配本所及び移動図書館等と連動しながら、次の4つの機能を果たしています。

- 1 小山市図書館サービス網の中核機関としての役割
- 2 参考図書館としての役割
- 3 直接サービス部門としての役割
- 4 保存図書館としての役割

これらはすべて相互に関連し合って、全体として中央図書館の役割を果たすこととなります。

今日の複雑・高度化する社会情勢の中で、市民の学習意欲に応える資料・情報の提供における公共図書館の役割は重要度を増してきており、社会の変化や新たな課題等に対応して、図書館運営に新しい視点や方策を取り入れていくことが求められています。平成28年度は、図書館システムを全面刷新し、情報発信機能の強化とUHF帯ICタグの採用により「市民に役立つ身近な情報発信図書館」を具現化しました。

図書館は幅広い年代の人々が触れ合う生涯学習の場として、また小山市における情報の発信基地として、図書館資料の充実と、市民の教養を高め、情操を豊かにし、生活に役立つ効果的な図書館活動を展開するとともに課題解決型図書館を目指し“資料”と“機会”と“場所”の提供による市民の学習・創造活動を援助し、市民とともに歩む図書館作りを推進していきます。

小山市立中央図書館長